

き た ま ち

わたしたちは“北海道の暮らしたいまち、オンリーワンづくり”を目指します

一般社団法人 北海道まちづくり協議会 2013年度 活動報告書

目 次

一般社団法人 北海道まちづくり協議会 2013年度(2013.4.1～2014.3.31)活動報告書

| ごあいさつ | 02

| 主な年間活動 | 03

| U30トライアル制度スタート | 04

| まちづくり支援事業(研究会活動) | 05

- ・ 街の中心地区活性化研究会
- ・ 防災・減災研究会
- ・ マンション建替え支援研究会
- ・ まちづくり戦略研究会

| まちづくり研修会 | 09

「スポーツによるオンリーワンのまちづくり！」

| まちづくりゼミナール | 10

- ・ 第1回 講座 「北海道の減災まちづくりのこれから」
- ・ 第2回 講座 「デザインを使った地域ブランド」

| 会員情報交流会 | 12

- ・ 第1回 情報交流会 「街の中心地区活性化研究会の活動報告」
- ・ 第2回 情報交流会 「音楽活動を活かした街中賑わいづくりの研究について」

| 記念講演会 | 14

| 新年交礼会 | 15

| 組織・役員 | 16

| 会員名簿 | 17

●ご覧になりたい項目をクリックするとページに移動します

ごあいさつ



一般社団法人 北海道まちづくり協議会
会長 大石 章夫

地域の発展と再生を目指して

わたしたちは“北海道の暮らしたいまち-オンリーワンづくり”を掲げ、一般社団法人として再スタート後、皆さまのご理解とご協力を賜り、無事第3期を迎えております。

第2期目となる2013年度の事業においては、地域に根指したまちづくり、人々の安心・安全な暮らしの確保等に視点を置きながら、地域の発展と再生に貢献する取り組みを展開すべく活動をしてまいりました。また多くの会員とともにまちづくりの実践活動に参加・関与する機会を得て、将来にわたり地域のまちづくりに貢献できる人材の育成にも取り組んでおります。

これも関係される皆さまのご支援によるものと深く感謝申し上げます。

この報告書は、2013年度の1年間の活動をまとめたものです。ご一読いただき、引き続き協議会活動に一層のご理解とご協力を賜ることができれば幸いと存じます。

地域に根ざしたまちづくりに求められる「4つの分野」



地域に根ざしたまちづくりを進めるため、ビジョンを共有し行動力を伴う協力関係をまちのなかに構築することです。行政、住民、商業者や関係団体等が組織化し、優れた人材の活用と育成、活動の定着化、資金調達の安定化を図ります。



まちなみ景観、建築ファサードや屋外広告物、道路附帯設備等、まちのイメージに配慮し整えることです。まちのイメージを共有し段階的に実現するため、デザイン計画を作成してまちを更新します。

組織化
プロモーション

デザイン
経済再生



地区ならではの特徴を、来街者や商業者に加えて起業家や投資家等にもアピールすることです。販促活動やイベント、情報発信等、多様なプログラムとツールを通して、地域らしさを戦略的に活かします。



経済基盤を再活性するため、地域産業や地域らしさを活かす仕組み等と連携しながら、経済活動を多様化し強化することです。既存ビジネスの拡張や新規ビジネスの導入、その効果検証を通して、戦略的に再活性化を図ります。

主な年間活動

組織運営

2013(平成25)年

5月21日	平成25年度 第1回 理事会 会場: 緑苑ビル・201号室
5月29日	平成25年度 第1回 通常総会 会場: かでる2.7・510会議室
10月23日	平成25年度 第2回 理事会 会場: 緑苑ビル・201号室
12月18日	平成25年度 臨時総会 会場: 緑苑ビル・201号室

2014(平成26)年

3月26日	平成25年度 第3回 理事会 会場: 緑苑ビル・201号室
-------	-------------------------------

まちづくり支援事業 (事業部会ミーティング: 4回)

街の中心地区活性化研究会	研究会ミーティング: 8回 恵み野商店街との意見交換会: 11回
まちづくり戦略研究会	研究会ミーティング: 10回 委託業務ワーキング: 4回 地元との協議他: 3回 札幌市との意見交換会: 1回
防災・減災研究会	研究会ミーティング: 6回 現地視察会: 1回 フォーラム、活動発表: 各1回
マンション建替え支援研究会	研究会ミーティング: 4回 マンション建替え相談会: 2回

交流研修事業 (事業部会ミーティング: 8回)

まちづくり研修会	10月7日 会場: 札幌エルプラザ3Fホール 参加総数: 91名 『スポーツによるオンリーワンのまちづくり』
まちづくりゼミナール	2回開催 参加総数: 74名
会員情報交流会	2回開催 参加総数: 48名
まちづくり出前フォーラム	10月10日 於: 札幌市
講演会	8月20日 中村清司氏高山賞受賞記念講演会 会場: かでる2.7
新年交礼会	2014年1月23日 会場: 中村屋旅館

情報広報関連事業 (事業部会ミーティング: 1回)

情報発信・管理	ホームページ管理更新、メールマガジン(メール INFO 配信)
PRパネル展示	札幌駅前通地下歩行空間にて当会PR パネルを展示(9/4～9) (北海道建築設計会議主催)

附帯事業

環境への取り組み	札幌市の「さぽーとほっと基金」(使途を“環境保全活動への活用”と指定)、および恵庭市・恵み野商店街「花さんぽの会」に対し、当協議会の年間事業費の約1%を寄付
----------	--

受託事業

恵庭市	恵み野商店街活性化事業(街の中心地区活性化研究会・担当)
札幌市議会公明党議員会	郊外住宅団地の今後のまちづくり施策に関する調査研究 (まちづくり戦略研究会・担当)

U30トライアル制度スタート



Under30トライアル制度

まちづくりに興味を抱く30歳以下の学生や若手技術者に協議会活動へ積極的な参加促進のため、登録・会費とも無料で協議会活動への参加ができる【Under30トライアル制度】を設けました。

当協議会が今後のまちづくり分野の持続的な発展に寄与するには、若手人材の参加促進が重要な課題であると考えます。そこで、学生や若手技術者が参加しやすい環境や技術研鑽、交流の機会を提供すべく「Under 30トライアル制度」を設立しました。これにより、学生や若手技術者が、協議会活動やまちづくり分野全体に興味を持ち、将来的に当協議会会員としての参加、ならびにまちづくり関連実務での活躍の実現を図ることとします。

この「Under30トライアル制度」を広く周知、活用することを通じて、協議会活動の活性化、ひいては道内におけるまちづくり技術者の育成・充実を図っていくことを目標とします。

U30トライアルメンバーについて	
年 会 費	無 料
基 準 (資格)	30歳以下、まちづくりに興味のある方を対象とする。
研究会活動への参加	Under30トライアル制度の登録者は、協議会会員と同様に各研究会に参加、活動することができます。
各種活動への参加	協議会会員と同様に交流研修事業（まちづくりゼミナール、まちづくり研修会等）に参加することができます。
メール INFO の配信	協議会会員と同様に、メーリングリストを通じて各種の情報提供が受けられる。メーリングリストでは、「まちづくりゼミナール」や「会員情報交流会」などの情報が配信される。
登 録 方 法	当協議会所定の書式をホームページよりダウンロードのうえ、必要事項を記入し、メール、ファクスまたは郵送にて事務局まで提出。

まちづくり支援事業（実践活動研究）

街の中心地区活性化研究会

活 動 内 容	中心市街地に存在する街の中心地区に着目し、その地区の成り立ちや現状をヒヤリングと地元意見交換を通して理解し、活性化成功の秘訣や課題解決の糸口を探る現場と密着した活動を行っている。このほか、国内外の街づくり事例を研究するなど、街の中心地区活性化推進のための情報収集も行っている。また、この活動の一環と捉え、これらのプロセスや成果を広く情報発信する。
代 表	大石 章夫（有限会社大石 R 計画）
メ ン バ ー	一戸 勝巳、内山 靖久、大場 眞一、岡本 浩一、片岡 道宣、加納 隆一、坂本 行宏、佐藤 市郎、住友 見千子、高橋 明男、武井 秀爾、辻井 順、能戸 裕之、藤山 三冬、目黒 裕史、森 哲子、山口 重則
主たる活動場所	道内中心市街地に存在する街の中心地区（主に商店街）
活 動 期 間	平成25年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	月 日	場 所	主 な 内 容
1	4月12日	緑苑ビル201号室	24年度報告書の確認、25年度業務内容と予定
2	4月16日	恵庭リサーチビジネスパーク	24年度報告書の確認について、25年度業務内容と予定
3	5月14日	緑苑ビル201号室	25年度活動計画、恵み野商店街活性化業務について
4	5月16日	恵庭リサーチビジネスパーク	恵み野商店街 第1回 意見交換会
5	6月11日	緑苑ビル201号室	恵み野商店街 第2回 意見回意見交換会の進め方
6	6月13日	恵庭リサーチビジネスパーク	恵み野商店街 第2回 意見回意見交換会
7	7月11日	緑苑ビル201号室	委託業務進捗報告、恵み野夏祭り参加協力体制
8	7月28日	恵み野商店街	恵み野夏祭り参加
9	8月22日	緑苑ビル201号室	恵み野商店街 第3回 意見回意見交換会の進め方
10	8月26日	恵庭リサーチビジネスパーク	恵み野商店街 第3回 意見回意見交換会
11	9月26日	恵庭リサーチビジネスパーク	恵み野商店街 第4回 意見交換会
12	10月2日	緑苑ビル201号室	恵み野商店街活性化業務について
13	10月29日	恵庭リサーチビジネスパーク	恵み野商店街 第5回 意見交換会
14	11月14日	緑苑ビル201号室	恵み野商店街 第6回 意見回意見交換会の進め方
15	11月20日	恵庭リサーチビジネスパーク	恵み野商店街 第6回 意見交換会
16	12月16日	恵庭リサーチビジネスパーク	恵み野商店街 第7回 意見交換会
17	1月16日	恵庭リサーチビジネスパーク	恵み野商店街 第8回 意見交換会
18	1月22日	緑苑ビル201号室	恵み野商店街意見交換会について、委託業務について
19	3月4日	恵庭リサーチビジネスパーク	恵み野商店街 第9回 意見交換会

活動について

①恵み野商店街関連活動

- ・商店街の人たちに主体的な取組みを進める意識づけには一定の効果があつた。行政も加わり開催した意見交換会は、陳情による補助金交付という行政支援でなく自主的・創造的な活動を高め、「官民協働」を考える良い機会を得た。
- ・各方面から意見交換ができ、地元と北まちの絆を強くすることができた。

②研究会全体活動

- ・委託業務の遂行に偏り研究会活動とのバランスが悪い1年だった。

③その他

- ・コーディネーターの力量によって話の引き出しが大きく違うことが分かり、その技術習得の必要性を感じた。



恵み野商店街意見交換会開催風景

まちづくり支援事業（実践活動研究）

防災・減災研究会

活動内容	・被災・復興に関わる情報のストックと共有（ネットを活用した情報共有） ・各種専門分野等の専門家を招いた勉強会の実施（防災、都市計画、エネルギー、その他） ・フォーラム、シンポジウムの開催（初年度を想定） ・ケーススタディ
代表	高森 篤志（株式会社ソフトスケープ）
メンバー	五十嵐 憲一、内山 靖久、香川 誠、久新 信一郎、佐藤 潤、武井 秀爾、高橋 美香、中山 祐二、前道 美有
主たる活動場所	津波被害が想定される地方自治体 等
活動期間	平成25年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	月 日	場 所	主 な 内 容
1	4月15日	緑苑ビル201号室	定例会
2	5月23日	緑苑ビル201号室	定例会
3	5月23日	緑苑ビル201号室	定例会
4	6月13日	協議会事務室	定例会
5	7月18日	協議会事務室	定例会
6	7月25日	札幌ユビキタス協創広場	フォーラム「北海道の減災まちづくりのこれから」 （まちづくりゼミナールとして開催）
7	8月31日	むかわ町、千歳市	現地調査
8	1月23日	協議会事務室	定例会
9	2月27日	緑苑ビル201号室	防災・減災研究会活動発表（会員情報交流会として開催）

活動について

- ・2013年度（平成25年度）の活動は、防災に関するフォーラムの開催と、津波に対する避難を考えるための現地視察（むかわ町）を中心に取り組んだ。
- ・7月にフォーラム「北海道の減災まちづくりのこれから」をユビキタスユビキタス共創広場U-calaにおいて行った。フォーラムでは特定非営利活動法人環境防災機構の新谷融氏を講師に迎え、今後の北海道における防災・減災のあり方についてご講演をいただいた後、防災・減災研究会のメンバーを含めたトークセッションを行った。
- ・8月にむかわ町において、想定される津波が到来した時に、浸水域における避難の課題（災害弱者の存在、避難経路等）を抽出することを目的として現地調査を行った。



フォーラム「北海道の減災まちづくりのこれから」



むかわ町現地調査

まちづくり支援事業（実践活動研究）

マンション建替え支援研究会

活動内容	近い将来、大きな社会問題になると予想されている「マンション建替え」について、（一社）再開発コーディネーター協会のマンション建替え専門グループと一緒に、技術向上のための事例研究や情報収集を行い、マンション建替えの推進普及に努めるとともに、支援を希望する管理組合に建替えプログラムの現地指導やマンション建替え実施のコンサルティング参加も視野に入れた活動をする。
代表	武井 秀爾（個人正会員）
メンバー	大石 章夫、内山 靖久、岡本 浩一、押野 和也、葛西 政一、菅野 克、北川 好和、久新 信一郎、後藤 健夫、佐藤 市郎、八田 真勝、濱谷 雅弘、深澤 彰一、本間 寿幸、横山 幹人、吉田 潔
主たる活動場所	札幌市内のマンション管理組合を中心
活動期間	平成25年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	月 日	場 所	主な内容
1	11月28日	緑苑ビル201号室	研究会ミーティング
2	1月27日	緑苑ビル201号室	研究会ミーティング
3	2月5日	緑苑ビル201号室	マンション建替え相談
4	2月18日	緑苑ビル201号室	研究会ミーティング
5	3月6日	緑苑ビル201号室	研究会ミーティング
6	3月28日	緑苑ビル201号室	マンション建替え相談

活動について

- ・研究会は6回開催した。初回は事例発表を中心に行った。2回目以降は、当研究会に既存マンション住民からマンション建替えに関する相談依頼あったため、その対応方法等を中心にミーティングを行った。
- ・マンション住民からの建て替え相談は、研究会メンバーが4～5名が対応し、住民の話を聞きながら、これからの進め方を中心に会合を重ねた。
- ・平成26年度についても、同マンション住民の相談について引き続き行うこととなる。
- ・マンション建替え相談を通して、研究会としては、実際のマンション住民が抱える問題点や課題に直面できたことが大きな成果であるとともに、今後ともマンション建替え相談を続けて行く機運が研究会内で高まった。



研究会ミーティング



マンション建替え相談会

まちづくり支援事業（実践活動研究）

まちづくり戦略研究会

活 動 内 容	25年度においては、昨年度に引き札幌市におけるコンパクトシティのあり方について議論すると共に、特に高度成長期に開発されて現在高齢化が急激に進展しつつある郊外住宅団地住民を対象としたモニタリング調査などを実施するなどして、これからの高齢化郊外住宅団地のまちづくりのあり方について考察し、具体的施策のためのまちづくり戦略を導き出す。
代 表	丸田 剛久（個人正会員）
メ ン バ ー	内山 靖久、生沼 貴史、大石 章夫、大場 眞一、岡本 浩一、菅野 克、久新 信一郎、後藤 健夫、佐々 巧、辻井 順中村 清司、森 哲子
主たる活動場所	札幌市
活 動 期 間	平成25年4月から1年間、活動状況によって更新

活 動 状 況

	月 日	場 所	主な内容
1	5月10日	緑苑ビル201号室	研究会ミーティング
2	6月5日	緑苑ビル201号室	研究会ミーティング
3	6月24日	緑苑ビル201号室	委託業務ワーキング
4	7月9日	緑苑ビル201号室	研究会ミーティング
5	8月8日	緑苑ビル201号室	委託業務ワーキング
6	8月12日	もみじ台	委託業務ワーキング（地元との協議）
7	8月27日	緑苑ビル201号室	委託業務ワーキング
8	9月24日	緑苑ビル201号室	委託業務ワーキング
9	9月30日	緑苑ビル201号室	研究会ミーティング
10	10月17日	緑苑ビル201号室	研究会ミーティング
11	10月28日	緑苑ビル201号室	研究会ミーティング（札幌市地域計画課との意見交換）
12	10月30日	もみじ台	委託業務ワーキング（地元アンケート対象町内会への説明）
13	11月6日	緑苑ビル201号室	研究会ミーティング
14	11月13日	緑苑ビル201号室	研究会ミーティング
15	12月11日	緑苑ビル201号室	研究会ミーティング
16	2月12日	緑苑ビル201号室	研究会ミーティング
17	3月20日	緑苑ビル201号室	研究会ミーティング

活動について

- ・委託業務のワーキングを行う
- ・もみじ台との地元協議を行う
- ・札幌市地域計画課との意見交換を行う
- ・もみじ台地元のアンケートの集計と今後の施策を協議した



研究会ミーティング

まちづくり研修会

2013年10月7日

「スポーツによるオンリーワンのまちづくり!」

札幌エルプラザ3F ホール

平成25年10月7日、札幌エルプラザ3F ホールにて、『スポーツによるオンリーワンのまちづくり!』としたまちづくり研修会が開催され、約90名の参加があった。

講演者は(株)北海道フットボールクラブ(コンサドーレ札幌)代表取締役社長の野々村芳和氏が講演の口火を切った。

現在のコンサドーレ札幌の予算の現状、Jリーグで勝つための予算やその増やし方の戦略の話からクラ



ブチームが地元で育ち、子供たちの育成、地域コミュニケーションを通して、地元密着のクラブチームがまちづくりに寄与する可能性を示してくれた。

次に全日本スキー連盟コンバインドジュニアチームコーチでありながら、下川町教育委員会に入りスキージャンプの国際的選手を地元から育成している伊藤克彦コーチから『ジャンプの魅力と地域ブランディング』と題して、スポーツの1種目



を通して、地域がブランディングされた事をお話しされた。下川町が一丸となり、施設の建設・整備から選手育成を経て、ジャンプの町として広域的に知られる事が、町の活力の向上や国際的な知名度の向上に寄与している。下川町はこのブランドを、これからどの分野に、どう生かしていくのかが、楽しみなところだ。

講演者の最後として、札幌市都市局長の高橋稔氏

から『札幌市の現状のスポーツ施設とまちづくり』と題してお話をいただいた。現在、スポーツ推進計画を策定中との事だが、スポーツをアスリートのものだけではなく、市民の健康増進等も含めたまちづくり計画を意識しているとの事。また、冬季オリンピックに建設した施設が多いことで、施設の更新時期が到来し、今後の市としてのスタンスも示された。



第二部は前出講師3人をパネリストとし、北海道まちづくり協議会常務理事・能戸裕之が進行役として、意見交換会が行われた。主にスポーツを手段として、人と人との繋がりをどの様に意識し、成長させているのか? また、コミュニティー形成の意識等、まちづくりへの取り組みを話し合われた。



参加者は、『スポーツ』と『まちづくり』と一見関係の無いように感じられるテーマの結びつきを、興味深そうに聞き入っていた。



【レポート】坂本行宏氏(有)ワイズデザインアンド マネージメンツ

まちづくりゼミナール

平成25年度 第1回 講座 | 2013年7月25日

「北海道の減災まちづくりのこれから」

講師 | 新谷 融氏 | 北海道大学名誉教授

平成25年7月25日(木)、札幌ユビキタス協創広場 U-cala において、北海道大学名誉教授新谷融氏を講師に迎え、まちづくりゼミナールを開催しました。今回のまちゼミは、防災・減災研究会の活動の一環として主に研究会メンバーの企画・運営により行いました。防災・減災研究会は、東日本大震災を体験した後、防災・減災の観点から北海道のまちづくりを今後どのように考えるべきかについて研究する組織です。



新谷先生は林学・砂防学をご専門とされていることに加え、近年では道内各地に出向き地域の方々と災害に強いまちづくりに取り組んでおられます。基調講演では、これまでの北海道における災害とその対応、まちづくりとの関係について各地の事例とともに紹介されたほか、最も大事なこととして「人づくり」を挙げられ、「住民自主」「地域連携」「家族連携」等について説明いただきました。

基調講演の後には、防災・減災研究会の3人のメンバーが加わり、それぞれの考えを発表した後、会場も交えて意見交換を行いました。東日本大震災の復興、南海トラフ巨大地震の危機が声高に叫ばれている現状ですが、北海道における減災への本格的な取り組みや将来的な方向性はまだ見えていません。今回のゼミがその契機となるように、防災・減災研究会も継続的な取り組みを行っていきます。



【レポート】高森篤志氏(株式会社ソフトスケープ)

まちづくりゼミナール

平成25年度 第2回 講座 | 2013年11月21日

「デザインを使った地域ブランド」

講 師 | 阿部 岳氏 | 有限会社ガクデザイン 代表取締役



平成25年11月21日(木)、かでの2.7において、有限会社ガクデザイン代表取締役阿部岳氏を講師に迎え、本年第2回のまちづくりゼミナールを開催しました。

阿部氏は、東京でグラフィックデザイン・パッケージデザイン等に係るデザイン事務所を経営する一方、地方でこそ情報発信のツールとしてデザインが求められるとして、出身の北海道帯広市において、「とかちデザインファームプロジェクト」を現在推進中であり、その活動報告を主にお話しをいただきました。



OLYMPUS DIGITAL CAMERA この中で氏は、“デザインブランディングは農場から”として、『農業をデザインする』『生産物をデザインする』ことを通し、地域ブランドを確立して、地方からの情報発信とともに、これが地方の人的・物的な交流、地方の活性化にも繋がることを熱く語られました。これは、まさに当協議会が目指す“オンリーワンのまちづくり”にも通じることであり、参加者の深い共感を得たものと思われます。

【レポート】佐藤 薫氏

(一般財団法人日本不動産研究所北海道支社 支社長)

会員情報交流会

平成25年度 第1回 情報交流会 | 2013年6月4日

「街の中心地区活性化研究会の活動報告」

話題提供 | 住友 見千子氏 | 株式会社プラッツ



平成25年6月4日、(株)プラッツ住友見千子さんから「街の中心地区活性化研究会」の活動について報告されました。来場者が大変多く、満席の状態でした。

さて、講演は、現在、活動の舞台は「恵み野商店街」、平成24年12月に恵庭市から商店街まちづくり協力業務として受託、地元商店主(商店会)と販売促進、組織の強化(商店会)、個店の魅力アップ、街並み景観づくりとした4つのテーマについてを柱としていました。

住友さんはこの意見交換会で議事録の担当であり、様々なお話を文字に残すことで恵み野の商店街の課題や魅力をあらゆる角度から見てきたようです。

このたびの報告では住友さんの「議事録係のひとりごと」として各テーマの感じたことを次のようにポイントとしてお話されました。

①販売促進(イベント)では【誰のためのイベントか、スローガン重要性、イベントの事後検証の必要性】、②組織の強化(商店会)では【売上げにつながる組織活動、明確な目標と団結の必要性】、③個店の魅力アップでは【恵み野の良いところ確認、高齢化に

伴う地域住民のニーズを考える】、④街並み景観では【上映方式の意見交換会のありかた、小グループから始める街並み整備】等。

商店街の一部の方々だけの討議では、目標や課題についての共通認識は生まれないため、意見交換会に商店街側から多数の参加者が来てくれることを望んでいる。研究会の今年度の「恵み野商店街」での活動は、活性化委託業務として意見交換会に加え、各種調査「歩行者等の通行量」・「夏まつり来場者アンケート」・「公共空間の意識調査」を行う。

この調査のデータは、次年度以降も商店会が引き続き蓄積していくことで課題点の抽出や今後の活動の取り組みについて活用してもらうこととしている。

また商店街の一大イベント7月末の夏まつりでは、研究会メンバーもお手伝いに参加し、北海学園大の岡本先生のゼミ生も催し物のメニューの提案・実施等、協力参加をすることで準備が進められている。

恵み野商店会は今年から若い世代に役員のバトンを渡されたので、新たな顔ぶれで商店街を盛り上げていってほしいとお話がありました。



【レポート】 山口 重則氏(YAM建築計画 主宰)

会員情報交流会

平成25年度 第2回 情報交流会 | 2013年12月12日

「音楽活動を活かした街中賑わいづくりの研究について」

話題提供 | 川瀬 浩氏 | 琴似4・2地区第一種市街地再開発事業個人施行者 事務局長

12月12日(木)、緑苑ビル2階 201号会議室において川瀬浩氏をお迎えし、第2回目の会員情報交流会が開催されました。



当協議会個人会員である川瀬氏は、現在、琴似4・2地区第一種市街地再開発事業個人施行者の事務局長をしており、日々、再開発事業の業務をこなす傍ら、自らバンド活動を行いながら琴似を拠点とした「音楽のまちづくり研究会」を主宰し、音楽を切り口とした街づくりの展開手法を研究しています。

第2回会員情報交流会では、研究会を立ち上げるに至った経緯、活動の変遷、現在の活動内容など、過去の活動を記録した動画・写真を見せながらユーモア交えたお話をいただきました。

「音楽活動とまちづくり」と聞いて、どう結びつくのか?そんな疑問を持たれた方もいたと思いますが、「音楽はまちの風景」をキーワードに、音楽をひとつの景観と捉えて、再開発事業の公開空地等を利用してストリートライブを行うなど、音楽のある風景づくりを展開

し、まちの賑わいづくりを創出したい。実際にそうした活動を行っていく中で、琴似のまちづくり団体との連携が生まれ、活動に関わってくれる方々が増えてきたとのこと。



人の巻き込み方、コミュニティのデザインの仕方によっては、「音楽」は有効な手段ではないか。将来的には、自分たちが「音楽を演奏しながら」というよりも運営者側に立って人を動かしていきたい。それがコミュニティづくり、まちの活性化により繋がるものと考えているというお話が印象的でした。

まだ、研究成果は出ていないということでしたが、今後の活動について大いに期待したいところです。

【レポート】

能戸 裕之氏(有限会社ジョブコム 代表取締役)

記念講演会

2013年8月20日

「都市再開発高山賞 受賞記念講演会」

講師 | 中村清司氏 | 稚内市水産商工課 課長



平成25年8月20日、か
でる2.7において、当協議
会の個人正会員・中村清
司氏が、平成25年度の第
23回「都市再開発高山賞」
されたことを記念し受賞
記念講演会を、当協議会

と（一社）再開発コーディネーター協会北海道Qの
会との共催により開催し、27名の方々に参加いた
だきました。

中村氏は、稚内市役所から稚内駅周辺地区第一種
市街地再開発事業の組合事務局長として出向し、粘
り強く長年にわたり活躍されました。

講演会では、本事業の計画段階のお話からはじま
り、事業の完成まで事務局長という視点から事業に
ついての説明がありました。その中で中村氏から
は、再開発事業において、人と人とのつながりの大
切さなど、現場を通して得られるお話をいただきま
した。

また講演の最後には、写真家 佐藤雅英氏による
施設建築物の写真等の映像をご紹介くださり講演
会は終了しました。

記念講演会終了後ひきつづき、中村氏を囲みなが
ら意見交換を行い、再開発事業や稚内市のまちづく
りなどの話題を通じて会員間の交流が行われました。



「都市再開発高山賞」

一般社団法人再開発コーディネーター協会より、多年
にわたり再開発事業の第一線で活躍している再開発
コーディネーターの中から、事業の完成に業績を残し
た者で、再開発コーディネーター業務の発展に著しく
貢献した者に与えられる賞。第1回表彰 平成3年。

新年交礼会

平成25年度 新年交礼会 | 2014年1月30日

1月30日(木) 中村屋旅館にて、一般社団法人北海道まちづくり協議会の平成26年新年交礼会が行われました。

当日は25名の会員の皆様にご参加いただき、賑やかに交流することができました。年が明けてからの初めての協議会公式行事でしたが、皆さん元気な顔でご出席いただきました。



初めに当協議会の大石会長から、新年の挨拶をされるとともに、若い理事たちへの激励もあり、身が引き締まりながらも、大変温かみのある挨拶でした。



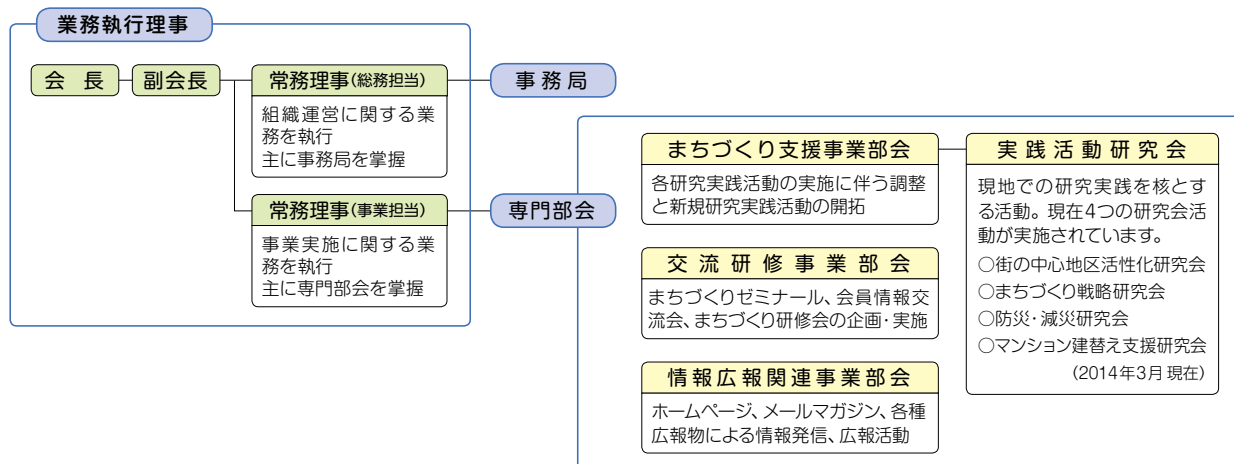
会は佐藤理事の乾杯で始まり、歓談の中で4名の常務理事から新年に向けた抱負などのお話をいただきました。そして各々の常務理事から指名された方がリレースピーチをする場面もあり、笑いの絶えない、大変楽しい新年交礼会となりました。

最後は森 副会長から『今年もがんばりましょう』と、乾杯で誓って閉会となりました。



組織・役員（一般社団法人北海道まちづくり協議会：平成25年4月1日～平成26年3月31日）

■ 組 織 執行理事が中心となって事業を推進し、会員の皆さまに専門部会や研究会活動への積極的な参画を募っている。



■ 事業内容

(1) まちづくり支援事業	◎各分野に関する 調査研究、支援、提言	◎地域再生、コミュニティの形成・再生
		◎まちの産業再生・活性化、まちマネジメント
		◎多様な分野との連携をいかしたまちづくり
		◎再開発やマンション建替え事業
	◎自主支援事業（実践活動研究会）	
(2) 交流研修事業	◎受託支援事業	
	◎まちづくり支援相談	
(3) 情報広報関連事業	◎まちづくりゼミナール、会員情報交流会、まちづくり研修会等の実施	
(4) 上記に掲げる事業に附帯または関連する事業	◎ホームページ、メールマガジン等による情報発信・広報	
環境への取り組み	地域の環境保全に貢献することを目的に、年度予算の1%程度を活用し環境や自然保全等に取り組む公益的団体等に寄付、支援等を実施	

■ 役 員

特 別 顧 問	上 田 陽 三	前社団法人北海道まちづくり促進協会 会長
相 談 役	濱 谷 雅 弘	北海道工業大学 未来デザイン学部 教授
相 談 役	吉 岡 宏 高	札幌国際大学 観光学部 教授
会 長	大 石 章 夫	有限会社大石R計画 代表取締役
副 会 長	森 哲 子	株式会社クオリアット 代表取締役
常務理事(総務担当)	大 場 眞 一	株式会社シグマ都市コンサルタント 代表取締役
常務理事(事業担当)	高 森 篤 志	株式会社ソフトスケープ 代表取締役
常務理事(事業担当)	能 戸 裕 之	有限会社ジョブコム 代表取締役
常務理事(事業担当)	山 口 重 則	Y A M 建築計画 主宰
理 事	岩 崎 秀 樹	株式会社ドーコン 取締役 執行役員 都市・地域事業本部長
理 事	岩 田 徳 夫	岩田地崎建設株式会社 取締役常務執行役員
理 事	佐 藤 薫	一般財団法人日本不動産研究所 北海道支社 支社長
理 事	西 尾 吉 博	伊藤組土建株式会社 執行役員 総務本部 副本部長
監 事	林 誠	株式会社北海道鑑定 代表取締役

■ 事業部会長

まちづくり支援事業部会	中 山 祐 二	株式会社シン技術コンサル 都市施設部 次長
交流研修事業部会	坂 本 行 宏	有限会社ワイズデザイン アンド マネージメント 代表取締役
情報広報関連事業部会	岡 本 浩 一	北海学園大学 工学部 准教授

会員名簿

【法人正会員】

2014年3月31日現在

	会 員 名	指 定 代 表 者
1	株式会社アーレックス	代表取締役 林 秀樹
2	アルファコート株式会社	代表取締役 川村 祐二
3	伊藤組土建株式会社	執行役員 総務本部 副本部長 西尾 吉博
4	岩田地崎建設株式会社	取締役常務執行役員 岩田 徳夫
5	有限会社ウイステリア	代表取締役 藤井 基彰
6	有限会社大石R計画	代表取締役 大石 章夫
7	株式会社クオリアット	代表取締役 森 哲子
8	株式会社クレオ・ムイナス	代表取締役 今村 樹憲
9	株式会社コムズワーク	代表取締役 竹ノ内 久
10	株式会社シー・イー・サービス	代表取締役社長 小室 裕一
11	株式会社シグマ都市コンサルタント	代表取締役 大場 眞一
12	清水建設株式会社北海道支店	執行役員支店長 山中 庸彦
13	有限会社ジョブコム	代表取締役 能戸 裕之
14	株式会社シン技術コンサル	代表取締役 佐藤 進
15	株式会社ズコーシャ	技術顧問 高橋 明男
16	有限会社ステージ	代表取締役 北川 好和
17	株式会社ソフトスケープ	代表取締役 高森 篤志
18	大成建設株式会社	札幌支店 開発部長 中村 清一
19	株式会社ドーコン	都市・地域事業本部総合計画部 副技師長 石塚 雅弘
20	戸田建設株式会社札幌支店	支店長 山田 裕之
21	土地家屋調査士法人共生	代表 加藤 俊太郎
22	株式会社日本設計	札幌支社 支社長 目黒 裕史
23	日本データーサービス株式会社	企画部 課長 山下 昌彦
24	一般財団法人日本不動産研究所北海道支社	支社長 佐藤 薫
25	株式会社ブラッツ	辻井 順
26	北海道印刷企画株式会社	代表取締役社長 中村 宣隆
27	北海道ガス株式会社	執行役員営業副本部長エネルギー営業部長 菅原 利浩
28	株式会社北海道鑑定	代表取締役 林 誠
29	街制作室株式会社	代表取締役 国分 裕正
30	丸彦渡辺建設株式会社	代表取締役社長 工藤 茂
31	有限会社ワイズデザイン アンド マネージメンツ	代表取締役 坂本 行宏

会員名簿

【個人正会員】

2014年3月31日現在

		会 員 名	
税理士等	1	司法書士・行政書士中嶋成美事務所 中嶋 成美	
	2	中村和雄税理士事務所 中村 和雄	
	3	土地家屋調査士 西田 政道	
個人事業主	4	RCM 建築企画 主宰 島津 毅	
	5	YAM 建築計画 主宰 山口 重則	
	6	グラスハート・デザインズ 主宰 小林 道郎	
一 般	7	一戸 勝巳	18 中村 清司
	8	岡本 浩一	19 西間 敏幸
	9	香川 誠	20 濱谷 雅弘
	10	葛西 政一	21 藤山 三冬
	11	片岡 道宣	22 本間 寿幸
	12	加納 隆一	23 前道 美有
	13	川瀬 浩	24 松井 泰友
	14	後藤 健夫	25 丸田 剛久
	15	佐藤 市郎	26 吉岡 宏高
	16	住友 見千子	27 吉田 潔
	17	武井 秀爾	28 吉村 廣

【賛助会員】

		会 員 名	代 表 者
1	琴似4・2地区第一種市街地再開発事業個人施行者		代 表 宮坂 美恵子

【特別会員】

		会 員 名	代 表 者			会 員 名	代 表 者
1	岩見 沢 市	市長 松野 哲		6	苫 前 町	町長 森 利男	
2	恵 庭 市	市長 原田 裕		7	二 セ コ 町	町長 片山 健也	
3	音 更 町	町長 寺山 憲二		8	函 館 市	市長 工藤 壽樹	
4	倶 知 安 町	町長 福島 世二		9	稚 内 市	市長 工藤 広	
5	千 歳 市	市長 山口 幸太郎					



KITAMACHI

一般社団法人 北海道まちづくり協議会

2013年度活動報告書

〔発行〕

一般社団法人 北海道まちづくり協議会

札幌市中央区北3条西7丁目-1 緑苑ビル2階

TEL.011-232-0926 FAX.011-222-5697

Email : info-ad@kitamachi.org

●お問い合わせ等はEメールでお願いします

